

第2回 震災対策 疎開先下見ツアーアンケート報告書

— もしもの……ときには、福島に来てみらんしょ —

平成18年 6月

主 催 花も“み”もある福島震災疎開交流会

共 催 福 島 市
後 援 全国商店街震災対策連絡協議会
東京都荒川区・
福島県・福島商工会議所
福島商工会議所青年部
旅行企画・実施 福島ツアーリストサービス(株)

はじめに

おかげさまをもちまして、第2回震災疎開先下見ツアーの受け入れが無事終了しました。

今回は、「花と雪の福島体験」をキーワードに実施させていただきました。

今回の募集は、花と雪を一度に体験できる福島にお越しく下さいと昨年疎開先下見ツアーに参加された皆様、震災疎開パッケージをご購入いただいている皆様へダイレクトメール、荒川区報、福島県ふくしまふるさと暮らし情報センターなどを通じてPR・募集を行いました。

参加された皆様よりアンケートをいただきましたので、ご報告いたします。都市部に居住している方の生の声を多くいただきました。ぜひご一読ください。

ご協力いただいた皆様、心よりのおもてなしとご対応に感謝申し上げます。

尚、福島市より助成と共催をいただいたこともご報告いたします。

平成18年6月

花も“み”もある福島震災疎開交流会
会長 林 克 重



疎開先下見ツアー 全日程

第1回：4月18日（火）～20日（木）

第2回：4月25日（火）～27日（木）

第3回：5月9日（火）～11日（木）

日程（2泊3日）

<1日目>

8：00 東京発 → 四季の里（昼食、散策・ガラス工芸館等） → 花見山
→ 16：30 土湯温泉 泊（交流会）

<2日目>

9：00 土湯温泉発 → 源泉探検 → ビッキ沼・水芭蕉散策
→ スカイライン・浄土平 → 果樹畑（昼食、農業体験・加工体験）
→ 15：30 飯坂温泉 泊（交流会）

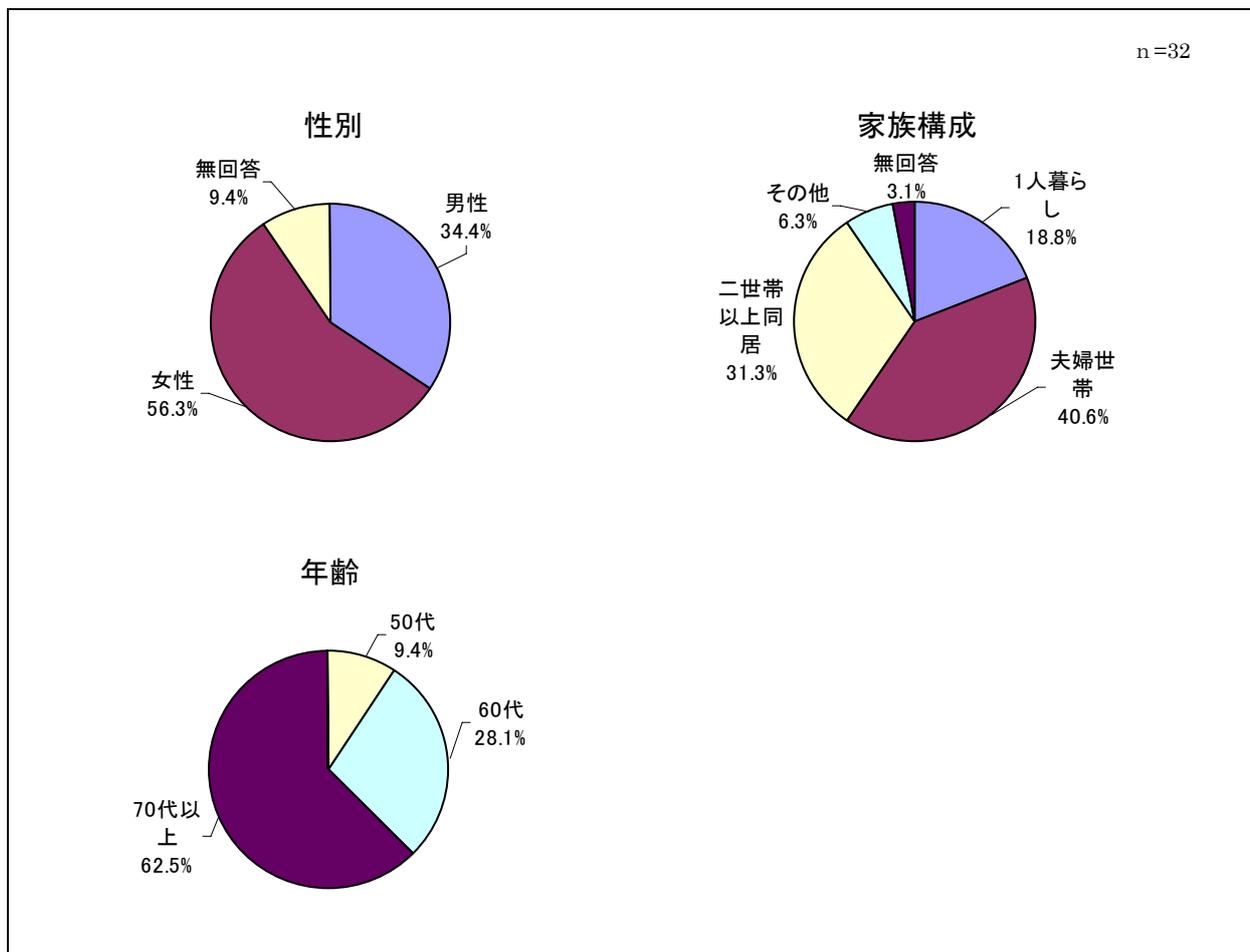
<3日目>

9：00 飯坂温泉発 → 舘山（花見学） → 堀切邸見学
→ 昼食クーポン（飯坂温泉街の食堂） → コラッセふくしま物産館
→ 13：30 帰京



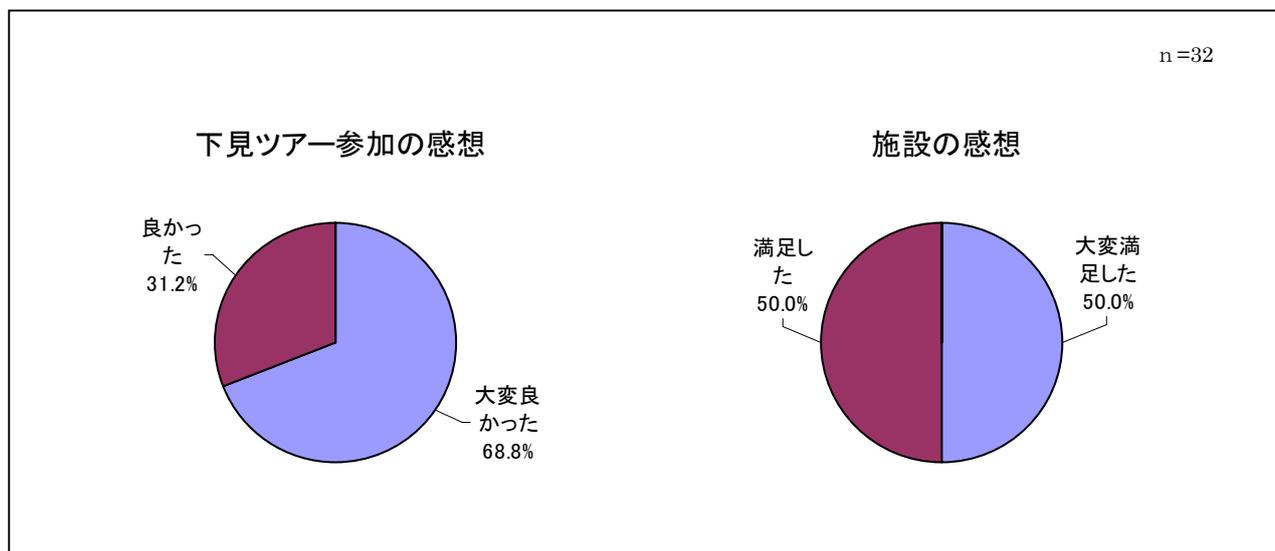
参加者アンケート集計結果

1. ツアー参加者の属性



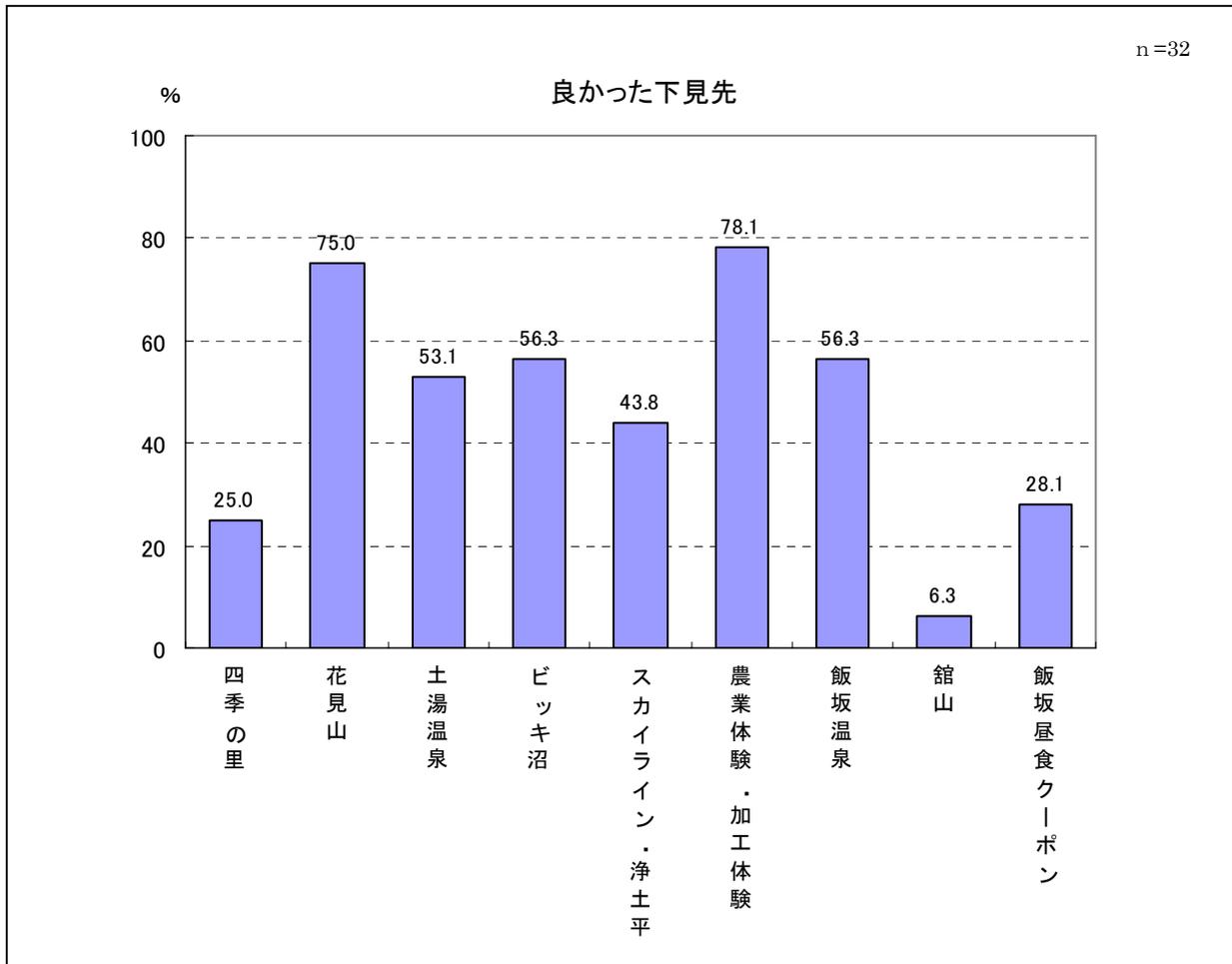
2. ツアーに参加しての感想

疎開先下見ツアーの感想は「たいへん良かった・良かった」が 100%、下見で訪れた施設の感想も「たいへん満足した・満足した」が 100%と、すべての参加者に満足していただいたツアーとなった。



3. 良かった下見先

最も人気があったのは「農業体験・加工体験」で78.1%、次に「花見山」75.0%、「飯坂温泉」「ビッキ沼」が56.3%、「土湯温泉」53.1%と続いた。

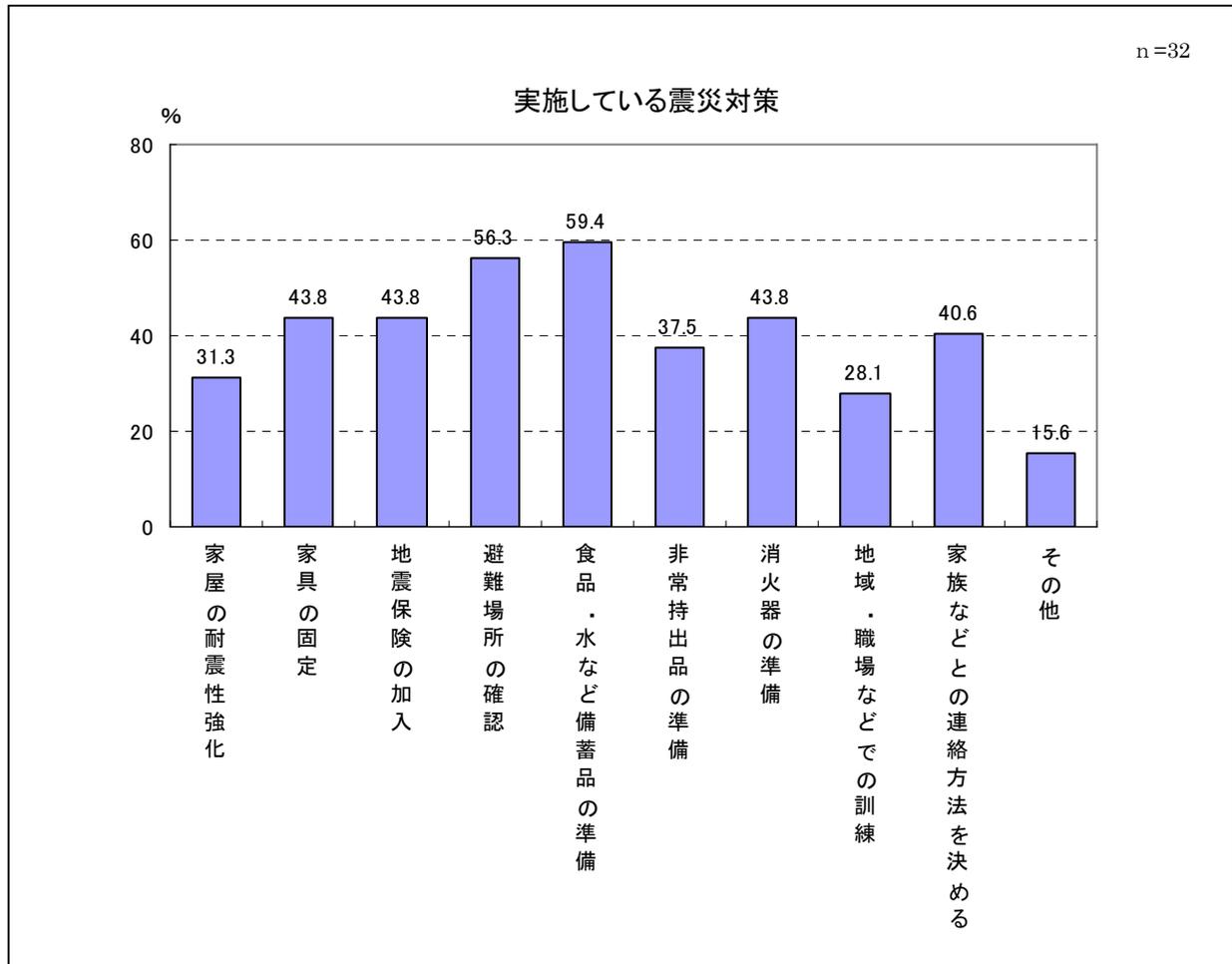


4. 福島の魅力

- 温かみのある人情が感じとられました
- 今回の下見ツアー大変によかった。市役所の方々や農家の人の生の声を聞くことが出来よい計画だと思います。今までの旅行は旧所名跡めぐりばかりで新鮮味なかった。
- 美しい自然の魅力と、お会いした方々の心からの親切に大満足でした。
- 全ての関係者の温かいもてなしと親切さ優しさ。山・川・農地の風景、空気の良さに心の豊かさと心意気を感じました。
- いままで以上のイメージより魅力アップして、風景・お花・山・豊かな水・おいしい空気、皆様のやさしさ、心の豊かさを感じ福島が大好きになりました。
- 「花もみもある福島」のキャッチフレーズどおりです。スタッフをはじめ、みなさんのあたたかさを感じました。
- 一回のみではわかりませんが、所々で地元の方のお話にやさしさを感じました。
- 疎開先下見ツアーとは良くわからず参加しましたが、大変勉強になりました。機会があれば又参加したいと思っています。福島の方たちのご親切、温かさに感動しました。ありがとうございました。益々のご発展を祈ります。
- 友人に誘われて初めて参加しましたが楽しく良かったです。
- 恵まれた自然の恵み（農産物等）にあふれおらかな人柄を感じるなつかしさ。又来てみたい想いがおきるところ。
- 周囲を山に囲まれているところ。
- 花、山に囲まれた自然の環境に満足させていただきました。
- 夜、TVビデオ見て1位がたくさんあっておどろき。特に果物豊富にあっっておどろき。
- 参加されている方々が大変に前向きである事に感銘いたしました。本当に感謝しております。
- ビッキ沼、スカイライン（雪景色）、山々の風景、農業体験、ツアーのガイドさん。行政の熱意、旅館のおかみ、保原屋の昼食おいしかった。
- 何処へ行っても緑が一杯で自然があふれ感激しました。
- 心のあたたかさ、ボランティアの人たち行動力。
- 気候にもめぐまれ、とてもよかったです。人のあたたかさにもふれ、皆様の郷土に対する思いを強く感じました。
- ボランティアの人々の福島を思う心、地元をよくしようとする気もちがよく伝わりました。実は私も半分福島人です！母の実家が原町市で、私はそこで生まれました。出生地福島です。福島が頑張ってくれているのはうれしい限りです。
- 福島県出身ですので福島県については全てに魅力を感じて居ります（郷土愛）。
- いずれも甲乙つけがたし。特に農業体験。珍しい体験、友人も誘いたいと思いました。
- すべて良いので甲乙つけ難し。今回の旅はパック旅行にしては大変味のある庶民の感覚が盛りだくさんでした。
- 接する人が温かい。10年の知己のようで失礼しました。楽しい旅でした。
- 色々な面で自然に恵まれているのを肌で感じる事が出来て又来たいと思っている。
- 震災対策関係者の心の豊かさ。自然がまだまだ残っていること。
- 自然豊かで、地元の人々の人情が厚い。
- 自然と温泉がいっぱい。今回出会った人達の温かさと、一生懸命さがひしひしと伝わってきた。
- 環境良く空気が美味しく又お伺いしたいと思います。人間関係が温かく楽しく旅行できましてありがとうございます御座いました。
- 人間関係の温かさと、支え合いの意気。
- 関係の方々全員力を合わせての親切ぶり、心からうれしく有難く思いました。

5. 震災対策について

「食料品・水など備蓄品の準備」が最も多く 59.4%、「避難場所の確保」56.3%、「家具の固定」「地震保険の加入」「消火器の準備」が 48.3%、「家族などとの連絡方法を決める」が 40.6%となっている。ツアー参加者が実施しているところの対策の項目数は平均 4 種類にのぼり、防災意識の高さがうかがえる。



◎その他の意見

- ・ 何もしていない。
- ・ 食料品の備蓄。
- ・ 最近は何のせいかわからない、あまり準備を怠っています。
- ・ 現金を身近におき身に付ける。
- ・ ホームページや著書（“私のリフォームページ”『ビバ！耐震リフォーム住宅』筆者 白洲一歩）で皆に呼びかけています。

6. ご意見・ご提案

- 都市側にこの程の試みが地道に行われていることのPR（啓蒙）活動が更に必要と感じました。
- すばらしい構想と思います。このような考えが、各地に広がれば防災対策のみならず、古きよき日本の再生、戦後失われた日本人の心を取り戻すことができるのではないかと思います。ただ、あえて意見を申し上げれば「疎開」という言葉にややひっかかり、何か他のよい言葉はないかと思います。次回も参加したいと思います。添乗員さんの気くばり、テイクケアは最高でした。
- 福島県、市、観光協会、農業従事者等の一体となった活動に強い安心感と心強さを感じ、感謝の念を抱きました。本当にありがとうございました。
- 参加させて頂いてこの活動がもっと発展し、いい方向に続いていくことを願っています。又、とても福島が身近に感じ何かあったら頼っていいのかな？と安心感も感じました。いろいろとこの事業にかかわって下さった方に感謝いたします。ありがとうございました。
- ツアーに参加するまでこのような事業が有ることを知りませんでした。この事業が広く知られ各方面が広く関心を持って、実行にうつせるようになることを願っています。ガイドさんの笑顔に感心させられ通しでした。本当にありがとう。
- 新潟の仮設住宅を見て、ますますこの「防災連携」が大切と思いました。どんな風にしたらはよくわかりませんがツアーを通して私などは田舎を知ることになります。
- 大都会に生活する者にとり地方との連携は大切な欠くべからざる事だと思います。先日もテレビで八日間位は自分で過ごせる様に日頃から心がける事が必要と言っていたが、当然の心がけと思っているこの頃です。具体的は思案等が実現されるのを期待したいものです。それに自分がどの様に関われるか、又関わりたいものと思います。
- 大変有意義な事業ですので参加させていただきありがとうございました。
- 大都会の東京が震災になった時疎開先として、御地がこのような企画をやって下さる事にありがたいと思います。しかし、その時、どのような交通手段で当地までやって来られるのか、本当に困難な時にあまりにも遠いのではないかと、その点が不安です。経済的にも負担が多く感じられます。お世話になりたいという気はありますが、どの方法で脱出可能でしょうか。はじめて参加して二泊三日の旅、あたり前の観光旅行と違って、連日安齋さんご夫妻、叶屋おかみさん、支倉さん、カエル沼の若夫婦、役所の方、その他皆さまで一生懸命な事に感動しました。田舎の香り、多少手伝った桃花つみ？田舎のない都会人にはとても有意義な毎日でした。地元の方が連日お付き合いくださったのはとても良かったです。これからは、若い人達を対象になさると、いきいきとした事に若い人達もなるでしょう。私も娘や孫に話して聞かせます。クーポン券もよかったです（保原屋さんおかみさん汗だくでやってくれました）。
- 時代が求めるもので大変良い事業ではないか。特に都市部と地方でのコミュニティ作りは色々の事から大切ではないかと思われる。





- 防災も一つの連携だが、環境とか食の安全とかもテーマにないと・・・。いきづまる心配がある。リピート客の確保の暖かみは十分感じさせてくれました。今後の健闘を祈ります
- 大変良い企画で流石です。
- このツアーによって防災について改めて見直すことができ、今後の私の防災対策に役立れます。又会長の率先した行動がみんなを動かし、より大きい力になっていると思います。全てのボランティアの方に感謝します。
- 日頃、テレビなどで目にしていますが、受け入れてくれるところがあるということはあるため安心してような気がします。お互い様という日本の良さを生かしていければいいですね。
- 私の住む神奈川県は相模湾に断層があり、地震には敏感な地域です。福島もよく地震があるので、避難できるのかと思っていましたが、説明を聞き認識を改めました。会長も忙しい中、引率していただき感謝です。心が伝わります。今回、農薬の事で話をしていました安齋さんの心意気に感じ、多少ならとも企画の一つを作るきっかけになれてよかったと思います。見返りは求めないけれど、心が通じて仕事になればうれしいことです。また参加して、新しいアイデアを、そしてきっかけを作ることができたらと思っています。ボランティアの皆さん、万歳！地域の活性化がなければ、ボランティアは続きません。
- 土湯温泉及び飯坂温泉の女将さん達のように気持ちの連帯と、たえず防災について防災についても建設的な意見を吸い上げて非常の場合に備えて意見の集約と徹底を如何に周知させるか、日頃から記録させられるようにして欲しいと思います。
- 大災害等発生してしまった時、地方の方と交流があったら心強く思います。
- 防災という感覚より「ふるさとの旅行」という意味が強い。人生の大部分を東京で過ごしたため、県内観光はあまりにも知らなすぎました。残りの人生を少しでも県内観光を心掛けたい。でも呼びかけがないと他県の観光を行うケースが多い。呼びかけはくりかえししつつPRしてほしい。次回に来ると3回になるが、よほど良い企画でないと来ないのではないと思う。
- 今回の考え方はとても心強い。しかし実際に被害の状況、自分自身のこと e t c. 予測が全く出来ない。生きていて一寸落ち着いたら福島の温泉でのんびりしたいと思うだけ。
- いざという時の連絡の取り方が本当に確約・確認できるのか心配。
- 交通機関の不通、道路交通の制限の中、救援がどのように行われるのか？実際の疎開者をどの様に接するのか？
- 「震災疎開パッケージ」や、今回のような「疎開先下見ツアー」をくりかえしPRすると良いと思います。その意味で、行政や観光業者、地元の農家の人たちと連携した今回のイベントは素晴らしいと思います。あらゆる機会にあらゆる方法でPRに努めることが大切ですね。声援をお送りいたします。私も自分のやり方で支援しますよ～！
- 何かあった時の心の拠り所、身の置場所があるという事は、日頃安心して生活が出来ると思います。今回のような事を重ねて、日頃から顔なじみになっている事が大切でないかと感じました。
- これからの生活、お互いに支え合うことの重要性が大切になる事は非常に大切なことと思います。これからもがんばって下さい。
- 第一避難場所。知人、親戚など居なくなった時受け入れてくださる所（気兼ねなく）がある事は非常に安心できるし助かる。是非続けて下さい。